

第18回
大阪アジア映画祭
特別招待作品

フィリピンに暮らす最貧困エリアの子どもたち。
その過酷な不法労働を、
声高らかに告発するのではなく、
スティックな映像で映す
ドキュメンタリー映画の傑作!

子どもが働く
子どもたちが働く



YIELD(原題)は「生産」「収率」「利益」などの意味。

第2のスモーカーマウンテンと呼ばれるゴミ集積所のパヤタス地区。そこで8年以上の歳月をかけて撮影された本作は、急斜面の岩山でハンマーを振りかざして岩を砕く少年の姿から始まり、ダイオキシンの影響で水頭症になった少年と少女、過酷な荷物運びで背骨が曲がってしまう少年など…子どもたちの生活に密着して様々なエピソードが静かに祈るように展開する。

監督デビューとなる瓜生敏彦は、知る人ぞ知るフィリピン在住40年の撮影監督。実家が三里塚闘争の拠点だったことから小川プロに所属してドキュメンタリー映画を学ぶ。スラム街の子どもたちに、何か欲しいものは?と聞くと、「勉強をしたい」との答えから、2001年に自費で無償の学校を設立。現在はNPO法人クリエイティブ・イメージ・ファウンデーション(Creative Image Foundation)として活動中。5,000人以上が卒業している。本作は瓜生敏彦が見つめ続けた子どもたちの世界の集大成であり、新たな第一歩となる。

子どもの瞳をみつめて

英題: YIELD Final Version

監督: 瓜生敏彦、ビクター・タガロ

出演: パヤタスの子どもたち[エイプリル、アリエル、ロムメル、グラディ・メイ、エドラレン、アレックス、ジャソン、ジャメル、イーサム 他]

製作総指揮: 瓜生敏彦 プロデューサー: 井上和子 統括プロデューサー: 山口千恵子

撮影・編集: ビクター・タガロ 録音: セサル・ウサーナ 音楽: ダイワ・デ・レオン

2022/フィリピン/カラー/ビスタ/DCP/93分 配給: アウトサイド © 2022 TAKION, INC

公式HP... 子どもの瞳をみつめて.net @ DOOR2023

4月29日[土・祝]よりGWロードショー!

全国共通特別鑑賞券 ¥1,500(税込) 販売中[当日一般: ¥1,800/学生: ¥1,500の処]

● 舞台挨拶・トークイベント情報及び、上映時間は劇場HP、公式HP、Twitterをご確認ください

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿 ドコモショップ左丸

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com

◆各回入替・全席指定席◆



この光溢れる場所に子どもたちがいる――

子どもの瞳をみつめて

瓜生敏彦、ビクター・タガロ 監督作品

出演：パヤタスの子どもたち

製作総指揮：瓜生敏彦 プロデューサー：井上和子 統括プロデューサー：山口千恵子

撮影・編集：ビクター・タガロ 録音：セサル・ウサーナ 音楽：ダイワ・デ・レオン

2022/フィリピン/カラー/ビスタ/DCP/93分 英題：YIELD Final Version

配給：アウトサイド © 2022 TAKION, INC



フィリピンに暮らす最貧困エリアの子どもたち。その過酷な不法労働を告発するのではなく、ストイックな映像で映すドキュメンタリー映画の傑作！